

〔 横浜市大倉山記念館 〕

令和 6 年度業務報告及び収支決算

〔 日比谷花壇・西田装美共同事業体 〕

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。

※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施 設 名	横浜市大倉山記念館
所 在 地	横浜市港北区大倉山二丁目 10 番 1 号 大倉山公園内
構 造 ・ 規 模	鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階、塔屋 1 階
敷 地 ・ 延 床 面 積	延床面積 1,877.23 m ² (大倉山記念館部分) 管理区域面積：4,073 m ²
開 館 日	昭和 59 年 10 月(昭和 7 年竣工)

2 指定管理者

団 体 名	日比谷花壇・西田装美共同事業体
所 在 地	東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号
代 表 者	代表者氏名 株式会社日比谷花壇 代表取締役 宮島 浩彰
設 立 年 月 日	昭和 25 年 12 月 6 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現 指 定 管 理 者 の 管 理 運 営 開 始 日	令和 4 年 4 月 1 日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【運営理念】

大倉山記念館の「文化芸術活動の拠点機能」を最大限発揮して、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞や参画機会を提供することで、市民の主体的な活動の促進・多様な文化芸術活動によるコミュニティの形成につなげ、「自然と文化とともに暮らす街 大倉山」を実現させるとともに、市の「文化芸術創造都市のまちづくり」の推進に貢献します。

【基本方針】

方針 1 全スタッフがコンシェルジュとなり、利用者目線に立った、公平で統一された高品質な接客サービスを実施します。

- ・代表団体は設立 70 周年、全国約 200 店舗を展開するフラワーショップとしての実績と経験から育んだ接客のプロとして、利用者の気持ちに寄り添い、ホスピタリティーあふれるサービスを実践いたします。
- ・「利用者＝お客様」と考え、独自の接客マニュアルや研修制度を活用し統一されたサービスを提供いたします。
- ・施設はもちろん、地域の情報も把握し、利用者や市民が求める情報をお伝えできる「まちのコンシェルジュ」となります。
- ・正面入り口に季節の生花を使った装花、ロビーやトイレなどに季節の花を飾り、癒しとくつろぎの空間を演出します。

方針 2 私たち自ら地域に出ていき、文化芸術を通じて、地域課題の解決や地域の安全・安心に協働して取り組みます。

- ・地域の一員として、関係団体や施設などと連携、情報共有を行い、地域課題や要望の把握に努めます。
- ・文化芸術活動を通じて協働し、私たちの資源とノウハウも活かして地域の課題解決や要望の実現につながる管理運営を行います。
- ・新規採用するスタッフは、可能な限り横浜市、港北区在住の方とし、また高齢者や、女性も活躍できる環境を整えます。
- ・地域住民や近隣施設と連携した地域一体防災訓練や防犯訓練を実施し、地域の安全安心拠点としての役割を担います。

方針 3 既存の事業は継続・発展を基本に、利用者とともにより良い活動を目指していきます。

- ・現在行っている協働は継続・発展を基本とし、関係者のご意見も伺いながら、より良い発展への形を模索しています。
- ・当施設の利用者の高齢化が進んでおり、若い世代が新たに活動に加わることが求められるなど、地域の実情をとらえ、課題の解決につながるような協働を推進します。
- ・私たちが持つ地域協働やボランティア育成のノウハウを活かし、施設や地域の財産を活かした、魅力あるあらたな協働を積極的に実施し、一緒に推進する仲間を作ります。

方針 4 市民の自主・自発的な活動を尊重し、市民と私たちが両輪となり、活動を支援します。

- ・文化芸術の振興に関する基本的な方針においても規定されている「活動主体の自発性と自主性が尊重されるべき」という項目に基づき、市民の自主・自発的な活動を尊重し、協働して市民主体による文化の創造、まちづくりの推進に寄与する管理運営を実践します。
- ・施設を利用いただいている団体、サークルなどの活動を館内外に周知し、新規会員募集や活動の意活動発展を支援します。
- ・当館が主導となり新しい文芸活動団体を立ち上げ、活動を支援します。最終的には、該当団体が自主自発的に活動し、自立した団体として広く活動できるよう育成します。

方針 5 世代や社会属性を超えたあらゆる方々に文化芸術に触れる機会を提供します。

- ・あらゆる方に公平に接することはもちろん、多様な情報発信手段の活用、出張講座などのアウトリーチ活動、無料講座の企画などによって社会属性を超えてあらゆる方々に文化芸術活動に関わる機会を提供します。
- ・施設開放日を設け、当館を知っていただき、気軽に参加できる文化芸術活動を行います。新しい趣味や知的向上につながり、また、地域を知る機会を提供します。

方針 6 平等公平な対応・人権の尊重・積極的な情報の公開・発信を原則とします。

- ・横浜市の指定管理者として行政の代行者であるという自覚を持ち、各種法令を遵守するとともに公平公正に業務を行います。
- ・責任者の配置と施設スタッフへの教育、利用者目線での接客・接遇、差別的な取り扱いの排除と誰にでもわかりやすい案内やコンプライアンスの遵守などを徹底します。

方針 7 S D G s の観点を持ち、自然や環境に配慮した、維持管理・運営を徹底します。

- ・横浜시가定める環境管理計画に従い行動し、ISO14001 環境マネジメントシステムに連動します。さらに横浜市の取り組みに迅速に対応し、区内の施設として必要な役割を果たします。
- ・植栽の維持管理作業で発生する選定枝や落ち葉などは、園内で堆肥化をすすめ、花壇や樹木の育成に活用することを検討します。
- ・維持管理・運営の目標を策定し環境活動に取り組みます。設定した目標は年度毎に結果を検証し、積極的に改善を図ることで環境活動の取り組みレベルを向上させます。
- ・自然や環境への配慮・共生共存を意識した維持管理運営を意識し、実践することで、横浜市 S D G s 認証制度” Y-S D G s “の認証を目指します。

方針 8 私たちが培ってきたノウハウと実績、ネットワークを最大限生かし、地域住民や施設と一体となり、強い愛情と熱意を持って大倉山記念館と地域の発展に貢献します。

- ・私たちの運営する指定管理施設などにおける地域協働の実績や、70 年にわたる接客業の経験に基づくお客様目線のおもてなしを当施設の運営に投下します。
- ・全国約 20 店舗を展開する拠点や月間 150 万 P V (ページビュー) の代表団体の WEB サイトなどの広域ネットワーク、国内外の様々な展覧会への出展実績や新しい文化を日本に根付かせてきた経験を最大限活用します。
- ・重要文化財をはじめとした歴史的建造物の管理運営実績と数々の表彰に裏打ちされた高品質な維持管理技術といった、私たちの持つ、豊富なノウハウを最大限に活かし、地域住民・市民や施設関係団体とともに、地域への強い愛情と熱意をもって、大倉山記念館と地域の発展に貢献する運営を行います。

（２）令和６年度の業務の方針の振り返り

ア 全体について

本年はコロナ禍より５類に変更になりましたが、インフルエンザ等その他の感染症にも充分配慮し、可能な限り利用者が利用しやすい施設運営を実施しました。また、市の文化政策に賛同し、文化芸術活動に取り組み、私たちの「ノウハウや実績」と利用者や市民の「施設や地域への想い」を真摯に受け止め、新しい取り組みやサービスを展開し、今まで以上に利用者や市民が地域・文化に親しみ、コミュニティを活性化させるとともに、地域の安全・安心、そして文化拠点となる施設の土台づくりを構築しました。

イ 使命１ 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者ともに策定する利用ルールの徹底で、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行しました。

ウ 使命２ 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化コミュニティの活性化・発展を支え、愛され続ける「施設・地域・まちづくり」を実現し、多様な市民の芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供しました。「大倉山講演会」など施設の特性を活かした事業や「大倉山秋の芸術祭」など地域と一体となり事業を展開し、文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供を実施しました。また、地域コミュニティの形成や横浜市芸術文化教育プラットフォーム内での「支援学級や養護学校への出張事業」を実施するなど社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進も行いました。

エ 使命３ 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、協力事業「でんしゃであそぼう！」など時代や環境に合わせた新しい協働を展開しました。そして市民参加型での施設の維持・運営にともに取り組みます。また、地域の団体、市内文化施設とネットワークを築き、文化的コモンズの形成を牽引します。

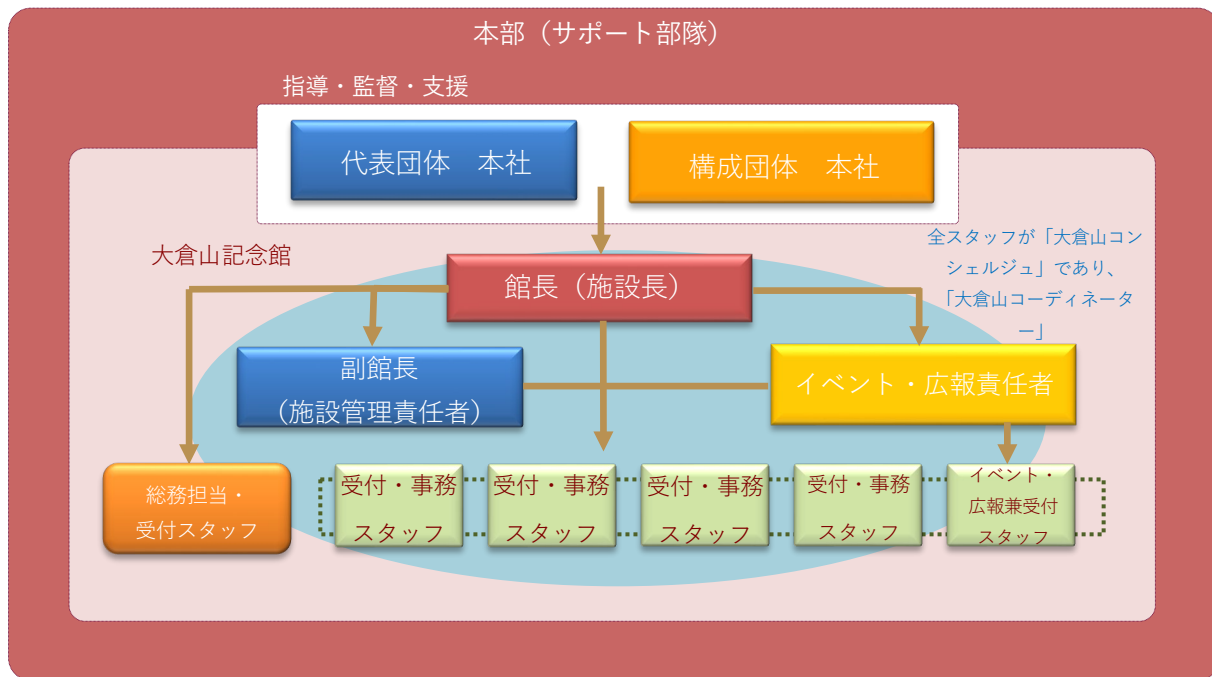
オ 使命４ 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

市指定有形文化財という当施設の貴重性・重要性を十分に理解し、常駐する維持管理担当者による、きめ細やか予防保全策を講じることで、利用者の安全・安心を確保しました。また、経験に基づく緻密な収支計画および本部による執行確認により、効果的かつ効率的で持続可能性の高い施設の維持管理と運営・サービス提供を実現しました。

カ 使命５ 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

コロナ禍の状況を踏まえ、ソーシャルディスタンスに応じた利用人数制限や入館前のアルコール消毒液の設置など引き続き安全対策にも積極的に取り組み、利用者が安心して来館できる施設を維持しました。また、イベント運営においても安心、安全への取組を日々徹底し、対策内容を広く告知し参加者数の回復に努めます。

4 運営組織の構造、人員配置



職名	雇用形態	主な役割	勤務時間	休日設定
館長 1名 現施設管理者・館長	正社員	・施設全体の管理運営 ・事業計画・予算計画作成 ・市対応、住民対応・地域連携促進	8時間/日	週2日
副館長 1名 現施設管理責任者 防火管理者（甲種）取得者 第二種電気工事士 危険物取扱者（乙種4種）	正社員	・館長代理 ・施設維持管理責任者 ・今期の当施設管理経験を生かした修繕計画立案	8時間/日	週2日
イベント・広報責任者 1名 イベント企画 広報業務経験者	正社員	・自主、共催等の事業立案及び実施 ・地域連携サポート	8時間/日	週2日
イベント広報担当者兼 受付スタッフ 1名	契約社員	・自主・共催事業運営補佐 ・利用団体のサポート・受付 ・広報作成・活用補佐	8時間/日	週2日
受付スタッフ 4名 （内2名はシェアードスタッフとして総務・庶務の担当）	パート タイマー	・利用団体受付 ・施設案内 ・自主、共催事業サポート ・行政報告・会計・決済・庶務補佐	5~8時間/日	週3~5日（事務 収支担当は週5日）
第一種電気工事士	正社員	電気設備全般の月次点検及び不具合時の一次対応	随時（月1回以上）	
電気主任技術者 （関東電気保守協会）	外部委託	・自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保守監督業務及び保守、法令点検	隔月	

館長1名を中心に副館長とイベント広報専任スタッフ各1名を配置し、施設保全・利用促進を両立する管理運営を実現します。

第2期3年目においても施設管理責任者とイベント企画運営・広報業務責任者を担当スタッフとして配置し、経験に基づく先を見越した修繕・施設管理と市民・利用者の立場に立ったイベントを遂行します。

管理経験を活かし、全スタッフが施設や地域の顔としてお客さまをおもてなしする「大倉山コンシェルジュ」であり、文化芸術の知識を有する「大倉山コーディネーター」であるという高い意識を持ち、お客さまを出迎え、業務を遂行します。

施設の特徴と接客待遇をしっかりと習得したスタッフによる研修マニュアルの策定と計画的な研修を遂行し人材開発・スキルの平準化を進め、誰もが、高い接客レベルで対応できるようにします。

5 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	総 来 場 者 数	年間施設利用 人数	85,383 人	120,000 人	108,178 人	88,316 人	—	120,000 人	—
		オープンデイ 開催時人数	550 人	1,300 人	1,595 人	1,236 人	—	1,600 人	—
2	貸 室 利 用 率	ホール	92%	91%	92%	93%	—	94%	—
		ギャラリー	80%	97%	71%	82%	—	100%	—
		第1集会室	84%	82%	83%	84%	—	85%	—
		第2集会室	52%	70%	68%	73%	—	73%	—
		第3集会室	47%	67%	66%	65%	—	70%	—
		第4集会室	81%	76%	78%	80%	—	79%	—
		第5集会室	79%	81%	82%	84%	—	84%	—
		第6集会室	69%	74%	70%	78%	—	77%	—
		第7集会室	74%	80%	78%	80%	—	83%	—
		第8集会室	37%	63%	65%	69%	—	66%	—
		第9集会室	48%	73%	66%	70%	—	76%	—
		第10集会室	92%	88%	90%	86%	—	91%	—
		年間平均	69%	79%	76%	78%	—	82%	—
3 ★	年間新規導入備品数		1 件	2 件	2 件	2 件	—	2 件	—
4 ★	年間新規備品目標稼働数		10 件	30 件	26 件	32 件	—	80 件	—
5 ★	アーティストバンクへの 年間総人数登録数		0 名	10 名	8 名	8 名	—	40 名	—
6 ★	アーティストバンクから の年間アーティスト稼働 人数		0 人	5 名	8 名	6 名	—	20 名	—
7 ★	大倉山アートマップの更 新頻度		1 回	1 回	1 回	1 回	—	2 回	—

8★	年間見学会開催数（塔屋を含めたツアー）		2 回	12 回	16 回	15 回	—	12 回	—
9★	見学会開催後アンケートによる満足度調査（満足度）		80%	90%	92%	91%	—	90%	—
10★	大倉山ご縁マルシェ	開催数（土日開催）	未実施	月 1 回	年 8 回	年 8 回	—	月 2 回	—
		来客数（/日）	—	30 名	35 名	32 名	—	30 名	—
		満足度	—	90%	90%	90%	—	90%	—
11★	大倉山ご縁カフェ	開催数（土日開催）	未実施	月 1 回	年 8 回	年 8 回	—	月 2 回	—
		来客数	—	30 名	35 名	32 名	—	30 名	—
		満足度	—	90%	91%	90%	—	90%	—
12★	陽だまりカフェ	開催数	未実施	月 1 回	年 8 回	年 8 回	—	月 1 回	—
		来客数	—	10 名/日	8 名	10 名	—	10 名/日	—
		満足度	—	80%	80%	82%	—	90%	—
13★	全施設の印象について（満足度）		80%	90%	91%	92%	—	95%	—
14★	共有スペースの印象について（満足度）		80%	80%	82%	83%	—	80%	—
15★	備品貸出、使い勝手について（満足度）		80%	80%	81%	82%	—	80%	—
16★	スタッフの対応について（満足度）		90%	95%	96%	96%	—	98%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	利用状況の把握をした
		R 5 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成している（定量指標通番 13 から通番 16 による）
		R 5 実績	『ご利用について何か要望、ご不満はありますか』の問いに対して『無い』、『特に無い』が 82%頂いているので目標達成とした
		R 6 実績	アンケートでの各項目の満足度を達成した。（定量指標通番 13 から通番 16 のとおり）
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成し、第 3 期に向けて更なる向上に努め、利用者の要望に応えるべく具体的な必要としての備品等をアンケートにて実施
		R 8 実績	—
2 ★	年度末アンケート調査にて備品に対する満足度を調査	R 4 実績	調査確認を行った
		R 5 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80%を目標とする。）
		R 5 実績	満足度 81% 具体的な内容としてはホールにおける『ステージフラワーが生花のスタンド花の様で金額が少額で済んで良かった。（¥2000）』『ホールでピアノを終日（9：00～22：00）までかりたのに 1 コマの¥3000 で済んで良心的であった。（複数回答有り）』 ※計画記載時 82%との誤記載あり修正をおこないました。
		R 6 実績	満足度 82%（目標達成） 新規導入備品として、簡易テントを 2 セット購入した。こどもフェスタを中心に日よけ、休憩スペースとしての利用につながった。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80%を目標とする。）
		R 8 実績	—
3 ★	館内掲示板にてアーティストの募集を実施する	R 4 実績	募集を実施した
		R 5 達成指標	開館中は随時掲示する。
		R 5 実績	掲示継続中
		R 6 実績	館内掲示板、ホームページで募集を実施した。
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	応募頂いたアーティストを自主事業にて出演頂くように交渉。
		R 8 実績	—
4 ★	SNSを活用しアーティストの募集を実施する	R 4 実績	募集を実施した
		R 5 達成指標	3ヶ月に1回を目標として募集する。
		R 5 実績	募集継続（四半期に1回）
		R 6 実績	前年同様に3ヶ月毎に募集継続していく。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	3ヶ月に1回を目標として募集する。
		R 8 実績	—
5 ★	積極的に施設の見学に対応する	R 4 実績	ホームページにおいて見学に関しての案内を掲載
		R 5 達成指標	開館中は随時対応する。
		R 5 実績	ホームページ、館内掲示
		R 6 実績	開館中は随時対応するほか、ホームページ、館内掲示でも周知を行った。特に電話での問い合わせが多かった。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	精神文化研究所様にも協力頂き、事業の多くなる週末ではなく、平日の来館促進につなげる
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ・年間施設利用人数は88,316人、貸館利用率はホール利用率93%、全体利用率78%と高い利用率を保持しました。
- ・貸出時には、市民・利用者の利便性と公平性、施設の保全に配慮し、利用ルールをだれでもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行しました。
- ・利用者の状況を把握するため、施設利用者へアンケートを行い、全施設の印象について満足度92%、スタッフ対応への満足度96%などの結果を得た。
- ・備品調達時、施設利用者の要望を参考に簡易 TENT を購入し、備品への満足度は82%となった。

エ 使命1の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績(アウトプット)	成果(アウトカム)	課題
利用者アンケートの実施	アンケートを実施し、利用者ニーズを把握した。	利用者ニーズを把握し、新規備品を購入。備品稼働数の増や利用満足度の向上につながった。	バリアフリー関連の要望は、現実的に対応できないことも多いので、ご理解をお願いしている。
施設見学への対応	・ホームページ、館内掲示で周知	年間ホール利用率の増加に貢献した。	ホールの見学対応は、週末は全日利用が多いため、基本的にホールが空いてい

	・電話での問い合わせに対し、すみやかにホール空き状況を案内した。		る平日しか見学できないため、今後の案内方法を検討していく必要がある。
--	----------------------------------	--	------------------------------------

- (2) 使命2 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通 番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	大倉山なるほど物語	来館数	210 名	180 名	195 名	192 名	—	180 名
		満足度	—	80%	82%	82%	—	90%
2 ★	こども記念館探検	来館数	未実施	50 名	65 名	68 名	—	100 名
		満足度	—	80%	82%	83%	—	90%
3 ★	職場体験	来館数	未実施	10 名	15 名	20 名	—	10 名
		満足度	—	90%	91%	92%	—	90%
4 ★	NPO 法人街カフェ大倉山ミエル 8 月ギャラリーにて親子の為の【アートジャム】イベント開催	1 回	1 回	2 回	2 回	—	1 回	—
5 ★	港北区区民活動支援センター 2 月オープンデイでの港北区内【まちの先生】紹介	1 回	1 回	1 回	1 回	—	1 回	—
6 ★	横浜ベビーHIP HOP スタジオ 母と子の為のダンスワークショップ、地域活性イベント協力	—	1 回	2 回	2 回	—	1 回	—
7 ★	特定非営利活動法人 ST スポット横浜 プラットフォーム事業における地域小学校へのアーティスト派遣	3 件	3 件	5 件	5 件	—	3 件	—
8	建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業数	4 件	20 件	6 件	7 件	—	25 件	—
9	館主催事業数	23 件	100 件	45 件	52 件	—	120 件	—

10 ★	フラワーアレンジメント教室（年6回）	来館数	98名	180名 6回	198名 9回	202名 9回	—	180名 6回	—
		満足度	95%	90%	96%	98%	—	90%	—
11 ★	花音コンサート（年4回）	来館数	225名	160名 /回	245名	255名	—	320名 /回	—
		満足度	90%	90%	92%	93%	—	90%	—
12 ★	花育教室（年4回）	来館数	30名	40名/ 回	32名	42名	—	40名/ 回	—
		満足度	80%	90%	85%	85%	—	90%	—
13 ★	オープンギャラリー	来館数	250名	300名	335名	322名	—	300名	—
		満足度	80%	90%	90%	90%	—	90%	—
14 ★	オープンデイ	来館数	320名	300名	340名	382名	—	400名	—
		満足度	90%	90%	93%	93%	—	95%	—
15 ★	港北区民交響楽団コンサート	来館数	52名	60名	62名	64名	—	60名	—
		満足度	85%	90%	90%	90%	—	90%	—
16 ★	今昔建築サロン	来館数	40名	40名	41名	40名	—	40名	—
		満足度	75%	90%	91%	90%	—	90%	—
17 ★	大倉山新春寄席	来館数	55名	40名	59名	62名	—	60名	—
		満足度	80%	80%	82%	84%	—	85%	—
18 ★	高校生ギャラリー&ミュージックフェスタ	来館数	—	500名	524名	482名	—	500名	—
		満足度	—	90%	91%	90%	—	90%	—
19 ★	オープンデイ～おしえてまちの先生PR展～	来館数	550名	1200名	924名	1,232名	—	1200名	—
		満足度	85%	90%	88%	90%	—	90%	—
23 ★	広報よこはま 港北区版(毎月発行)		12件	12件/ 年	12件	12件	—	12件/ 年	—
24 ★	タウンニュース		2件	5件/ 年	4件	6件	—	10件/ 年	—
25 ★	フリーペーパーえがお (毎月発行)		12件	12件/ 年	12件	12件	—	12件/ 年	—
26 ★	Facebook、Instagram、X(旧Twitter)		115件	100件/ 年	186件	199件	—	100件/ 年	—

※計画の際に項目重複があったため、重複項目 20 から 22 を削除いたしました。

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	各事業終了毎にアンケート	R 4 実績	32 回/年

	トを集計	R 5 達成指標	40 回/年
		R 5 実績	48 回/年
		R 6 実績	48 回/年
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	40 回/年
		R 8 実績	—
2	アンケートによる満足度調査	R 4 実績	満足度 84%
		R 5 達成指標	満足度 80%以上
		R 5 実績	満足度 82% 「料金が安いのはありがたい。」「季節感を花で感じて満足である。」「スタッフの方が親切で優しかった」等
		R 6 実績	満足度 82% 「料金がちょうどいい」「コンサートで帰りに花を頂けるのはお得感がある継続してほしい。（多数ご意見）」
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	満足度 80%以上
3 ★	アンケート回収率	R 4 実績	70%
		R 5 達成指標	50%以上
		R 5 実績	72%
		R 6 実績	75%
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50%以上
4 ★	アンケート結果による新規 SNS 媒体 ※撮影実績数	R 4 実績	0 社
		R 5 達成指標	5 社/年
		R 5 実績	0 社 昨年に続き 0 件であったが、次年度早々に Instagram 情報を開設するので、ギャラリー利用やウエディング前撮り撮影各社に SNS で告知し、新規媒体を獲得していく
		R 6 実績	5 社(25 件) ウエディング前撮りが 25 件と大幅に増加した。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	10 社/年
		R 8 実績	—

5 ★	他事業への関心調査 ※共催事業の展開	R 4 実績	本年度は無し
		R 5 達成指標	自主イベントの再考
		R 5 実績	子供向けイベント実施（プラレール） 大倉山記念館における子供向けのイベント増を考えた時。大倉山の立地上、東急電鉄を坂の所から見ている親子ずれが多く、そこから、（プラレール）の実施を思い付き、ギャラリーの周回が合致し、ご利用に繋がった。
		R 6 実績	前年好調であった子供向け事業である『プラレール』を2回開催。同日に保護者向けイベント「でんしゃとあわせてたのしめる！」（旧名のんびるフェスタ）も開催し、親子で楽しめると好評を得た。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	記念館を中心とした共催事業同士による情報交換により更なる新規事業へと発展させる
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ・地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化とコミュニティの活性化・発展に寄与し、愛され続ける「施設・地域・まちづくり」を実現し、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供しました。
- ・「花音コンサート」では、会場を季節のテーマに沿った装花「キーフラワー」で飾り付け、花の香にあふれる会場で音楽を楽しめるコンサートを4回実施し、255名の来場がありました。終演後、出演者からキーフラワーの1本束を来場者にお渡しし、出演者と来場者が交流できる公演として満足度93%と多くの方に満足いただくことができました。
- ・「フラワーアレンジメント教室」を年9回実施し、202名に参加いただきました。また、「花育教室」では、小学生以下を対象に母の日やクリスマスに向けてのアレンジメント制作を4回実施し、42名に参加いただきました。指定管理者ならではの事業を展開し、いずれも高い満足度を得ることができました。

エ 使命2の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績(アウトプット)	成果(アウトカム)	課題
他事業への関心調査に関して ※共催事業の展開	「でんしゃであそぼう！」 子供向けにプラレールの展示、お母さん向けには日頃の疲れを癒すをテーマにマッサージ、ネイルサロンを展開。	お父さんと子供がプラレールで遊び、その間にお母さんには日頃の疲れを癒してもらう場を提供し、終日家族で過ごせる満足度が高いイベントとなった。	子供が未就園児のファミリー層は、特に母親の負担が多いため、託児サービスも提供できないか主催者と検討していきたい。

アンケート結果による新規 SNS 媒体に関して ※撮影実績数	ウエディングの前撮り撮影が前年を大幅に超える件数 (25 件) となった。	SNS にて『横浜・洋館・前撮り撮影』と検索すると大倉山記念館が上位にアップされ知名度アップにつながった。	前撮り件数の増加につなげて、人前式での利用も視野に、今後さらなる展開につなげていきたい。
アンケートによる満足度調査	主催事業である『花音コンサート』は春・夏・秋・冬と四季でその時々のテーマフラワーを設定し実施した。	コンサートのお帰りに渡すテーマフラワーの『1 本花』が好評で、満足度アップにつながった。	入場料においても少しずつであるが単価アップしているが、採算的に厳しい状況にあるので、出演者も今後は吟味していきたい。

(3) 使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	港北区役所地域振興課と連携し地域の安全マップを作成	実施 1回	1回/年 更新	1回	1回	—	2回/年 更新	—
2 ★	港北警察署と連携し、正面入口に防犯メールの内容を掲示し、地域の防犯対策に寄与します。	実施	メールに連絡が入り次第掲示板にて更新	防犯メール掲示	防犯メール掲示	—	メールに連絡が入り次第掲示板にて更新	—
3 ★	港北消防署と連携し、情報提供コーナーを開設、文化財に対する保全意識の向上、地域の市民共催団体関係者と実施している救命訓練等の状況をお知らせし、安心して施設を利用できるよう努めます。	実施 2回	2回/年 更新	館内掲示板の活用、訓練2回実施	2回	—	2回/年 更新	—
4	(公益財団法人)大倉精神文化研究所 ・創立90周年イベント開催(大倉邦彦とタゴール) ・撮影実績パンフレットVol.2,3 ・図書館PR協力(本についての座談会や紹介) ・紙芝居レンタル ・3階回廊を活用した常設パネル展示	実施 2回 (オープンデ イ春・ 秋) ※回廊 常設通 年とオ ープン ギャラ リー28 日間	年 20件	実施	4件	—	年 20件	—
5	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール ・障害者向けのフラワーアレンジメント出張事業	未実施	5件	先様より保留	1件	—	5件	—

	・ギャラリーにてアート展示会 ・大倉山パラアートフェスティバルの開催								
6	- シンコースポーツ・サンワックス ・フラワーアレンジメント出張事業 ・レンタル装花、館内装花 ・共催事業開催時のイベント協力 ・パンフレット等配架協力		実施 2回	5件	6件	8件	—	5件	—
7	- 鶴見川流域ネットワーキング ・移動水族館の誘致 ・パンフレット等配架協力		実施 1回	2件	1件	1件	—	2件	—
8	- NPO 法人街カフェ大倉山ミエル ・夏休みの期間、子どものためのアートジャムフェスタを開催		実施 1回	1件	2件	2件	—	1件	—
9	- 港北区区民活動支援センター - 港北区内のまちな先生の派遣としてオープンデイに事業協力		実施 1回	1件	1件	1件	—	1件	—
10 ★	大倉山講演会	来館数	30名	各40名	42名	41名	—	各70名	—
		満足度	70%	80%	81%	82%	—	90%	—
11 ★	大倉山ジョイフルコンサート※	来館数	—	各40名	—	—	—	各70名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
12 ★	大倉山こどもフェスティバル	来館数	400名	1000名	1150名	1232名	—	1500名	—
		満足度	90%	90%	92%	83%	—	90%	—
13 ★	大倉山秋の芸術祭	来館数	4,500名	4,000名	4150名	4052名	—	5,000名	—
		満足度	85%	80%	82%	83%	—	90%	—
14 ★	小さな丘のメリークリスマス	来館数	1,100名	1,000名	1082名	1085名	—	1,500名	—

		満足度	90%	90%	92%	92%	—	90%	—
15	のんびるフェスタ	来館数	—	500 名	520 名	532 名	—	500 名	—
★		満足度	—	80%	85%	84%	—	80%	—
16	港北美術展		—	継続実施	実施	実施	—	継続実施	—
17	大倉山ドキュメンタリー映画祭	来館数	550 名	300 名	596 名	482 名	—	300 名	—
★		満足度	85%	80%	83%	82%	—	80%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	各施設へ期待する事へのヒアリング（事前打ち合わせ）	R 4 実績	実施 10 回
		R 5 達成指標	40 回/年 要望として簡易的な食べ物の提供
		R 5 実績	42 回/年 有料公演においても金額は室料のみ倍額であり、有料備品は通常料金にて対応している
		R 6 実績	45 回/年 前年同様、ホールを中心として部屋代のみの倍額で有料備品は通常
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50 回/年 週末を中心としたキッチンカー等の配置
		R 8 実績	—
2	各施設へ協働により当初の問題が解決したかのヒヤリングアンケート調査：満足度）	R 4 実績	協議した結果、記念館内にて食べ物を購入したいとの要望があった。
		R 5 達成指標	80%以上 大型共催事業にて飲食のひとつであるキッチンカーのイベント時に展開模索
		R 5 実績	満足度 82% 大倉山記念館は音出し出来る部屋と出来ない部屋があり、且つ音出し出来る部屋も『音量基準』がある事を認識して頂けた。各集会室は防音設備が無い旨、ご利用者様同士のご理解を促す
		R 6 実績	満足度 82% 前年同様にご案内して、利用者間のご理解を促す。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	90%以上 ロビーにおける臨時出店の可能性を模索
		R 8 実績	—

3	各施設へ問題点解決へ期待する事のヒアリング（反省会実施）	R 4 実績	共催事業者（秋の芸術祭、こどもフェスタ、ドキュメンタリー映画祭）にヒアリングし、ロビーにての食べ物販売を許可してもらいたいとの要望を伺う
		R 5 達成指標	20 回/年 コロナ禍の終息により食品衛生許可証を持参確認し、承認していく（横浜市要確認）
		R 5 実績	4 回
		R 6 実績	4 回
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	25 回/年 共催事業以外の大型イベント利用者に同様の案内励行
		R 8 実績	—
4	イベント開催への感想（アンケート調査：満足度）	R 4 実績	アンケート実施により、利用者の要望を聞くことが出来た
		R 5 達成指標	80%以上 前年の要望によりイベント時における自転車（駐輪場）の置き場を事前に説明（北部公園敷地にて一時停車）左記は週末の為、事前に北部公園に承認頂く
		R 5 実績	83% どのイベントにおいても満足感を得ているようであるが、音楽だけに捉われるのではなく、幅広い文化・芸術項目イベントを行ってもらいたいとの要望を頂けている。それを次年度以降の新規事業としていきたい。（特にこども対象イベント）
		R 6 実績	84% アンケートにおける要望を一つずつではあるが、具現化出来るようにしていった。（慶応大学の正月明けに行っている新春寄席を夏場の納涼寄席として開催実施し、年 2 回の開催とした）
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	90%以上 イベント開催にその都度新たな要望を叶えるべく従事していく
		R 8 実績	—
5	イベント開催における賑わいの創出（イベント参加人数）	R 4 実績	平均 350 名 文化的イベントも音楽を中心として行って、にぎわいを創出
		R 5 達成指標	定員の 8 割以上 音楽コンサート系も継続するが、こどもを中心としたイベントや、落語のような古典的なイベントも積極的に勧める
		R 5 実績	82%
		R 6 実績	83% プラレール（3 回・200 名程度）・学生落語寄席（年 1 回 50 名程度）等文化的イベントも行い賑わいの創出に寄与した。

		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	定員の 8 割以上 上記イベントを行うとともにキッチンカーが 必ず出店できる事を目標として賑わいの創出に努める
		R 8 実績	—
6	アンケート調査によるターゲット層への反響（全体の参加人数に占める割合）	R 4 実績	80% 年代別、お住まい(地域)の情報にイベントとの齟齬が無かったかの確認を行った
		R 5 達成指標	過半数 イベントを行うにあたり、こちらの主旨が問題なかったかの確認において、アンケート項目を簡単に且つ記載いただける工夫を行う
		R 5 実績	85% ターゲット層は 60 代に設定（全体シェアの 60%）参加費は出来るだけ安価が第一、それ以上の年代も同様、今後においても事業の多様化による若い世代の芸術分野事業開拓も考慮していく。
		R 6 実績	84%
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	7 割以上 特にこども対象としたイベントにおいては、自転車及びベビーカーの置き場も勘案し事前告知を行えるよう努める
		R 8 実績	—

ウ 使命 3 を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ・協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や環境に合わせた新しい協働を展開し、市民参加型での施設の維持・運営に取り組みました。
- ・「大倉山こどもフェスティバル」では、キッチンカー出店に続き、記念館内外を子どもでも楽しく学びながら巡れる催しとして「スタンプラリー」を発案、学生ボランティアの皆さんがアイデアを基に企画・運営をいたしました。
- ・「大倉山秋の芸術祭」では、第 40 回の節目として周年記念展示を大倉精神文化研究所様の資料協力により開催、また、各出演者の備品貸し出しの効率化などの部分を工夫し、イベント出展として大倉山記念館を利用される皆様のサポートを行いました。
- ・「小さな丘のメリークリスマス」では、公園花壇を維持するボランティア団体（愛護会）や横浜すみどり環境局北部公園緑地事務所様との連携でメンテナンス後の杉枝やハーブの末端といった発生材を使った会場装飾やワークショップを開催しました。
- ・上記の各共催事業関係者から、施設の問題点解決へ期待する事のヒアリング（反省会）を 4 回実施し、「記念館に常備されていると助かるイベント用備品」や「キッチンカー拡充」などの要望を得ることができました。

エ 使命3の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績(アウトプット)	成果(アウトカム)	課題
各施設へ問題点解決へ期待する事のヒアリング(反省会実施)	大型共催事業者である『小さな丘のメリークリスマス』『こどもフェスタ』等においてはロビー販売だけでなく、キッチンカーの出店誘致を行った。	・キッチンカーの導入により、来場者の滞在時間を延ばすことができた。 ・親子で1日過ごせる場として、来館者の高い満足度を獲得した。	更なる来館者の滞在時間の確保と満足度の獲得に向けて、左記記載の共催事業だけでなく、他の共催事業でも実施可能か検討していく必要がある。
イベント開催における賑わいの創出(イベント参加人数)	慶応大学の落語において、夏場の納涼寄席が増やせ、ご利用者のアンケート要望を叶えることが出来ました。	好評であるイベントは年1回から2回と増やせている(プラレール・大倉山アートジャム等)	大型事業を増やすことで、通常のご利用者が使用できない事が懸念されるのでなるべく閑散期での実施を検討していく必要があります。
大倉山ジョイフルコンサート	当初の開催団体がコロナ禍後に別会場へ移動、代替事業として、記念館や港北区周辺地域の演奏者をコーディネーターとして、JAZZの文化に気軽に触れていただけるイベントを企画実施しました。	スタンダードジャズとボサノバの2日間開催で実施。両日参加とも参加されるお客様もいらっしゃいました。1日目2回合計85名 2日目105名参加	開催時期や時間などはまだ検討中な面もあり、今後、より参加しやすいコンサートイベントとして改善をしていきます。

(4) 使命 4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	全蛍光灯の LED 化 約 2 2 0 本	65%	100%	75%	80%	—	実施済み	—
2 ★	節電・電力料金見直し等による電気料金削減率 (対 2 0 2 1 年度)	15%増額	10%	15%増額※	20%増額※	—	15%	—
3 ★	ギャラリー壁紙の張り替え	未実施	100%	未実施	未実施	—	実施済み	—
4	施設の管理瑕疵に起因する事故件数 0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	—	0 件	—
5	法定点検等の実施率 100%	100%	100%	100%	100%	—	100%	—
6	修繕予算の執行率 90%	60%	90%	75%	78%	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	修繕方法 最善策の 模索	R 4 実績	スタッフ間にて協議
		R 5 達成指標	利用者ニーズを忠実に対応定点の目視を基本として、毎定点の目視を基本として、毎日違う人員にて観察
		R 5 実績	ホームページにて資材確保を最優先として協議
		R 6 実績	即時対応可能な修繕を最優先して実施した。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者ニーズを忠実に対応 月 1 回の休館日においてその月にて不備のある所をまとめて修繕
		R 8 実績	—
2 ★	軽微な修繕の即日 対応	R 4 実績	即時対応
		R 5 達成指標	開館時、1 5 時に館内巡回に以上の場合即時対応
		R 5 実績	即日・即時の対応継続
		R 6 実績	これまでの継続
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	上記 1 日 2 回の確認と閉館時に再確認、 翌日朝番に引継ぎ連絡し、開館前の修繕に努める
		R 8 実績	—

3	アンケート・ヒヤリング等による施設の使いやすさや快適さの向上確認	R 4 実績	日々確認励行
		R 5 達成指標	ご要望に応える事を第一としていく
		R 5 実績	複数名での確認励行
		R 6 実績	常に先んじて最悪を念頭に行動し、安全第一とした
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	設備備品の老朽化による交換は随時励行していく
		R 8 実績	—
4	管理運営費推移の要因分析・改善	R 4 実績	月次確認
		R 5 達成指標	月中における改善を日々励行
		R 5 実績	月次確認資料を基に半期ごとにスタッフ会議励行
		R 6 実績	前年同様に会議励行
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	専門的な改善業務は即時業者見積発注し、横浜市報告の上、修繕に問題なければ早急に対応
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組んだ事項

当施設の貴重性・重要性を理解し、利用者の安全・安心を確保しながら、効果的・効率的で持続可能性の高い維持管理・施設運営を実現しました。

エ 使命4の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績(アウトプット)	成果(アウトカム)	課題
アンケート・ヒヤリング等による施設の使いやすさや快適さの向上確認	常に利用者目線で、施設を見るように心がけ、不具合箇所においては即時に修繕対応した。	ご利用者へのフィードバックも次回ご利用時には回答できるようにしていき、直接来館時に伝えた。	施設の老朽箇所が多く、指定管理者で対応できない箇所においては横浜市と協議していく。

(5) 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

ア 使命5を達成するために重点的に取り組んだ事項

・施設内の安全対策の徹底やその内容を広く告知し利用者が安心して来館できる対策を実行しました。

- ① スタッフによる一日2回の館内共有部分の除菌消毒
- ② ご利用者の利用後ごとの各会場の除菌消毒
- ③ スタッフの勤務前に検温の義務付け
- ④ 掲示物やのぼりを掲示し啓発活動に努める等。

事業イベント開催時

- ① 入退室時の手指消毒・検温の徹底をお願いする。
- ② 座席間隔を取り、換気をこまめに行う。

収入対策

- ① アフターコロナに向け、新たな事業サービスを考え、実行して行きます。
 - ・公演のオンライン配信の撮影代の徴収
 - ・オンライン会議向けのスペースやコンテンツの提供 等

令和6年度 「大倉山記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
	指定管理料	29,285,959		29,285,959	29,824,959	△ 539,000	横浜市よりR6年度期中における賃金スライド適用による増
	利用料金収入	9,912,300		9,912,300	9,960,800	△ 48,500	集会室利用料及び付帯設備料
	自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
	自主事業収入	1,744,332		1,744,332	2,446,650	△ 702,318	花音コンサート、プラリザードフラワー教室、STスポット、キッチンカー等
	雑入	3,412,000	0	3,412,000	2,941,479	470,521	
	印刷代	72,000		72,000	72,000	0	利用者コピー印刷代
	自動販売機手数料	550,000		550,000	585,082	△ 35,082	1F,2F設置自販機手数料
	駐車場利用料収入	0		0	0	0	
	横浜市補填金収入	0		0	644,397	△ 644,397	横浜市より物価高騰支援、キャッシュレス補填
	その他（ 撮影分 ）	2,790,000		2,790,000	1,640,000	1,150,000	撮影代金(動画・スチール画の有料分)
収入合計		44,354,591	0	44,354,591	45,173,888	△ 819,297	

支出の部

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
	人件費	24,398,018	0	24,398,018	23,524,627	791,801	共同事業体(日比谷花壇・西田装美スタッフ)全員分
	給与・賃金	20,492,565		20,492,565	20,098,666	393,899	同上
	社会保険料	2,636,429		2,636,429	2,159,178	477,251	同上
	通勤手当	888,000		888,000	1,173,783	△ 285,783	スタッフ月額定期代合算値
	健康診断費	104,400		104,400	93,000	11,400	スタッフ受診合算値
	勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
	退職給付引当金繰入額	276,624		276,624	81,590	195,034	
	事務費	1,700,976	0	1,700,976	1,999,665	△ 298,689	
	旅費	66,000		66,000	194,353	△ 128,353	旅費・交通費分
	消耗品費	645,880		645,880	673,803	△ 27,923	毎月発注の消耗品合計値
	会議賄い費	24,000		24,000	90,764	△ 66,764	共催事業打合せにて使用
	印刷製本費	160,000		160,000	160,000	0	大倉山記念館パンフレット増刷及びオリジナル封筒作成の為
	通信費	395,862		395,862	395,380	482	電話・FAX通信費
	使用料及び賃借料	116,840	0	116,840	116,840	0	
	横浜市への支払分	81,840		81,840	81,840	0	自販機2台分目的外使用料分
	その他	35,000		35,000	35,000	0	
	備品購入費			0		0	
	図書購入費	13,200		13,200	13,200	0	書籍購入
	施設賠償責任保険	82,160		82,160	88,430	△ 6,270	年度初め4月及び下期10月に年2回支払い分
	職員等研修費	22,000		22,000	15,986	6,014	年度末にて個人情報研修及び確認テスト代金
	振込手数料	3,000		3,000	6,550	△ 3,550	大倉精神文化研究所様分光熱費振込分
	リース料	122,034		122,034	114,348	7,686	コピー機・電話リース料
	手数料	0		0	81,465	△ 81,465	各種手数料
	地域協力費	50,000		50,000	48,546	1,454	愛護会、ボランティア活動年間協力費
	事業費	1,844,332	0	1,844,332	2,678,306	△ 833,974	
	自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	100,000		100,000	115,000	△ 15,000	愛護会へ年2回花苗購入の為
	自主事業費	1,744,332		1,744,332	2,563,306	△ 818,974	自主事業仕入れ・経費年間分
	管理費	11,243,827	0	11,243,827	11,556,721	△ 312,894	
	光熱水費	4,047,715	0	4,047,715	4,620,011	△ 572,296	本部にて月例報告の仕入明細書記載にて参照
	電気料金	3,656,400		3,656,400	4,203,821	△ 547,421	電気料金
	ガス料金	0		0	0	0	
	水道料金	391,315		391,315	416,190	△ 24,875	水道料金
	清掃費	3,362,304		3,362,304	3,112,593	249,711	
	修繕費	1,232,000		1,232,000	940,906	291,094	
	機械警備費	462,000		462,000	462,000	0	
	設備保全費	1,530,408	0	1,530,408	1,885,754	△ 355,346	
	空調衛生設備保守	264,000		264,000	490,710	△ 226,710	
	消防設備保守	319,000		319,000	319,000	0	
	電気設備保守	303,138		303,138	345,774	△ 42,636	
	害虫駆除清掃保守	88,000		88,000	88,000	0	
	駐車場設備保全費	0		0	0	0	
	その他保全費	556,270		556,270	642,270	△ 86,000	
	共益費	609,400		609,400	535,457	73,943	入金機年間支払い分
	公租公課	2,250,006	0	2,250,006	2,352,464	△ 102,458	
	事業所税			0		0	
	消費税	2,250,006		2,250,006	2,352,464	△ 102,458	
	印紙税	0		0		0	
	その他（ ）			0		0	
	事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	2,904,232	0	2,904,232	2,904,232	0	
	本部分	2,418,234		2,418,234	2,418,234	0	本部経費
	当該施設分	485,998		485,998	485,998	0	同上
	二一ズ対応費	13,200		13,200	25,573	△ 12,373	
支出合計		44,354,591	0	44,354,591	45,041,588	△ 768,587	
差引		0	0	0	132,300	△ 50,710	